

路 盤 工（リベースジョイント工法・リベース工法）

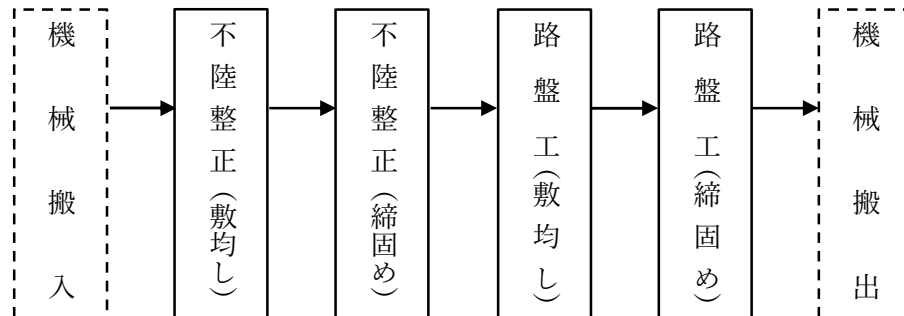
1. 適用範囲

本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工で粒調 Fe 処理材（粒調 Fe 石灰路盤材）を採用するリベースジョイント工法・リベース工法に適用する。

また、一層の仕上り厚さは、20cm までとする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- （注） 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 不陸整正は、必要に応じて計上する。
3. 現道における情報ボックス工事、路盤の部分的な補修工事等は、歩道部を適用する。

3. 施工歩掛

3－1．種類の選定

路盤工における機械・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 種類の選定

作業種別		機械名	規格
車道・路肩部	路盤工 及び 不陸整正	モータグレーダ	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m
		ロードローラ	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型（2014 年規制） 運転質量 10t
		タイヤローラ	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型（2014 年規制） 運転質量 13～14t
歩道部	路盤工	小型バックホウ	クローラ型・後方超小旋回型 超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）
		振動ローラ	舗装用・搭乗・コンバインド式 超低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値） 運転質量 3～4t

3－2．日当り施工量

路盤工及び不陸整正における日当り施工量は、次表とする。

表 3.2 日当り施工量（1 日・1 層当り）

施工区分	工種	単位	作業日当り標準作業量
車道・路肩部	路盤工	m ²	830m ² /日・層
	不陸整正	〃	1,400m ² /日・層
歩道	路盤工	〃	250m ² /日・層

3－3．労務歩掛

路盤工及び不陸整正における労務歩掛は、次表とする。

表 3.3 労務歩掛

(100m²当り)

施工区分	工種	施工区分	単位	普通作業員	特殊作業員	土木一般世話役
車道・路肩部	路盤工	1 層	人	0.150	0.120	0.090
		2 層	〃	0.300	0.240	0.180
		3 層	〃	0.450	0.360	0.270
	不陸整正	－	〃	0.100	0.070	0.060
歩道	路盤工	1 層	人	0.530	0.480	0.360
		2 層	〃	1.060	0.960	0.720

(注) 1. 普通作業員は、車道における施工機械の補助的な作業及び歩道における路盤材の敷均し作業を行う。

2. 不陸整正の普通作業員、特殊作業員及び土木一般世話役は、補足材の有無による違いはない。

3－4．諸雑費

諸雑費は、路盤工での散水及び歩道施工における補助機械に要する費用であり、労務費、機械損料及び機械運転費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、不陸整正には計上しない。

表 3.4 諸雑費率

施工区分	単位	諸雑費率
車道・路肩部	%	8
歩道	%	5

4. 路盤材料〔粒調Fe処理材（粒調Fe石灰路盤材）〕の使用量

路盤材料〔粒調 Fe 処理材（粒調 Fe 石灰路盤材）〕の使用量は、次式による。

$$\text{使用量 (m}^3\text{)} = \text{設計量 (m}^3\text{)} \times (1 + K) \cdots \cdots \text{式 4.1}$$

K：ロス率

表 4.1 ロス率(K)

県 名	地 区	ロス率
福岡県	全 域	+ 0.33
佐賀県	全 域	+ 0.33
長崎県	全 域	+ 0.27
熊本県	阿蘇地区一円・大津町・菊陽町・菊池市（旭志） 水俣市・津奈木町・芦北町・人吉市・球磨郡一円	+ 0.30
	上 記 以 外	+ 0.33
宮崎県	全 域	+ 0.30
鹿児島県	全 域	+ 0.30
大分県	全 域	+ 0.30

5. 単価表

(1) 路盤工（車道・路肩部）100m²・1 層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.3
特 殊 作 業 員		人		〃
一般土木世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m ³		式 4.1
モータグレーダ運転	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m	日	100/D	表 3.2
ロードローラ運転	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 10t	日	100/D	〃
タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 13～14t	日	100/D	〃
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

(2) 路盤工（車道・路肩部）100m²・2 層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.3
特 殊 作 業 員		人		〃
一般土木世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m ³		式 4.1
モータグレーダ運転	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m	日	200/D	表 3.2
ロードローラ運転	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 10t	日	200/D	〃
タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 13～14t	日	200/D	〃
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

（3）不陸整正 100m²・1 層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.3
特 殊 作 業 員		人		〃
一般土木世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m ³		式 4.1
モータグレーダ運転	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m	日	100/D	表 3.2
ロードローラ運転	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 10t	日	100/D	〃
タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 13～14t	日	100/D	〃
諸 雑 費	まるめ	式	1	
計				

（４）路盤工（歩道部）100m²・1 層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.3
特 殊 作 業 員		人		〃
土木一般世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m ³		式 4.1
小型バックホウ運転	クローラ型・後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）	日	100/D	表 3.2
振動ローラ運転	舗装用・搭乗・コンバインド式 超低騒音型・排出ガス対策型 （第 3 次基準値） 運転質量 3～4t	日	100/D	〃
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

（５）路盤工（歩道部）100m²・2 層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘要
普 通 作 業 員		人		表 3.3
特 殊 作 業 員		人		〃
土木一般世話役		人		〃
路盤材料（粒調Fe処理材）		m ³		式 4.1
小型バックホウ運転	クローラ型・後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）	日	200/D	表 3.2
振動ローラ運転	舗装用・搭乗・コンバインド式 超低騒音型・排出ガス対策型 （第 3 次基準値） 運転質量 3～4t	日	200/D	〃
諸 雑 費		式	1	表 3.4
計				

6.機械運転単価表

（１）モータグレーダ

名 称	規 格	単位	数量	摘要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
燃 料 費	軽油 1,2 号 パトロール給油	リットル	60.00	
機 械 損 料	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m	供用日	1.13	
諸雑費（まるめ）		式	1.00	
計				

（２）ロードローラ

名 称	規 格	単位	数量	摘要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
燃 料 費	軽油 1,2 号 パトロール給油	リットル	34.00	
賃 料	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 10t	日	1.19	
諸雑費（まるめ）		式	1.00	
計				

（３）タイヤローラ

名 称	規 格	単位	数量	摘要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
燃 料 費	軽油 1,2 号 パトロール給油	リットル	26.23	
賃 料	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 13～14t	日	1.15	
諸雑費（まるめ）		式	1.00	
計				

（４）小型バックホウ

名 称	規 格	単位	数量	摘要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
燃 料 費	軽油 1,2 号 パトロール給油	ℓ	10.67	
機 械 損 料	クローラ型・後方超小旋回型 超低騒音型 排出ガス対策型（第 3 次基準値） 山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）	供用日	1.13	
諸雑費（まるめ）		式	1.00	
計				

（５）振動ローラ

名 称	規 格	単位	数量	摘要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
燃 料 費	軽油 1,2 号 パトロール給油	ℓ	14.80	
賃 料	舗装用・搭乗・コンバインド式 超低騒音型・排出ガス対策型 （第 3 次基準値） 運転質量 3～4t	日	1.08	
諸雑費（まるめ）		式	1.00	
計				

7.参考(単価表例)

【積算条件】 名称：車道部，発注場所：福岡市，仕上り厚：13cm，施工区分：1層施工

(1) 路盤工（車道・路肩部）100m²・1層当り単価表

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額
普 通 作 業 員		人	0.150	24,100	3,615
特 殊 作 業 員		人	0.120	29,000	3,480
土木一般世話役		人	0.090	33,200	2,988
路盤材料 (粒調Fe処理材)		m ³	17.29 ^(注1)	5,850 ^(注2)	101,147
モータグレーダ 運転	土工用・排出ガス対策型（2014年規制）ブレード幅3.1m	日	0.120	84,040 ^(注3)	10,085
ロードローラ運転	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制）運転質量10t	日	0.120	39,460 ^(注4)	4,735
タイヤローラ運転	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型（2014年規制）運転質量13～14t	日	0.120	38,090 ^(注5)	4,571
諸 雑 費	労務費、機械損料及び機械運転費の合計額に8%を乗じた金額を上限	式	1		2,280
計					132,900

(注) 1. $100\text{m}^2 \times 0.13\text{m} \times (1+0.33) = 17.29\text{m}^3$

2. 材料単価は、土木工事実施設計公表単価表(福岡県県土整備部)令和8年5月8日の単価である。

ここで、佐賀県の材料単価は土木工事・森林土木工事設計基礎単価表(佐賀県県土整備部)を、長崎県の材料単価は公表用積算基準（単価・歩掛）（基本単価一覧表）を参照のこと。また、国土交通省および上記以外の県についてはFe石灰技術研究所にお問い合わせ下さい。

3. (2) モータグレーダ参照

4. (3) ロードローラ参照

5. (4) タイヤローラ参照

（２）モータグレーダ

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	28,200	28,200
燃 料 費	軽油 1,2 号 バトロール給油	ℓ	60.00	149 ^(注 6)	8,940
機 械 損 料	土工用・排出ガス対策型（2014 年規制） ブレード幅 3.1m	供用日	1.13	41,500 ^(注 7)	46,895
諸雑費（まるめ）		式	1		5
計					84,040

（３）ロードローラ

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	28,200	28,200
燃 料 費	軽油 1,2 号 バトロール給油	ℓ	34.00	149 ^(注 6)	5,066
賃 料	マカダム・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 10t	日	1.19	5,200 ^(注 7)	6,188
諸雑費（まるめ）		式	1		6
計					39,460

（４）タイヤローラ

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額
運転手（特殊）		人	1.00	28,200	28,200
燃 料 費	軽油 1,2 号 バトロール給油	ℓ	26.23	149 ^(注 6)	3,908
賃 料	普通型・超低騒音型 排出ガス対策型 （2014 年規制）運転質量 13～14t	日	1.15	5,200 ^(注 8)	5,980
諸雑費（まるめ）		式	1		2
計					38,090

（注） 6.「建設物価」（一財）建設物価調査会および「積算資料」（一財）経済調査会の当該月の平均単価

7.「建設機械等損料表」（一社）日本建設機械施工協会

8.「建設物価」（一財）建設物価調査会および「積算資料」（一財）経済調査会の当該月の平均賃料に
長期割引率35%を考慮した金額である。